

資料提供	
平成30年9月21日	
担当 (担当者)	文化政策課 (河合) 文化財課 (山根)
電話	文化政策課 0857-26-7134 文化財課 0857-26-7523

## 平成30年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

このたび、平成30年度地域文化功労者文部科学大臣表彰被表彰者が決定しました。

### 記

#### 1 被表彰者

分野	氏名	年齢	功績概要
芸術文化分野 (地域振興部推薦)	すさき としお 須崎 俊雄	84歳 (※)	永年にわたり、小説家として優れた活動を行うとともに、鳥取市文化団体協議会顧問等を務め、地域文化の振興に貢献している。
文化財分野 (教育委員会推薦)	う べ じん じゃ き りん し し ま い ほ ぞん かい 宇倍神社麒麟獅子舞保存会	—	永年にわたり、県指定無形民俗文化財「宇倍神社獅子舞」の保存と継承に尽力し、地域の文化財保護に貢献している。

※文化庁発表の資料は11月1日現在の年齢のため85歳となっています。

#### 2 表彰式

(1) 期日 平成30年9月30日(日)  
文化庁創立50周年記念式典の中で表彰式を行う。  
(記念式典 午前9時30分から11時30分まで)

(2) 会場 国立京都国際会館(京都府京都市左京区宝ヶ池)  
※表彰式の出欠(予定)  
須崎 俊雄 . . . 欠席  
宇倍神社麒麟獅子舞保存会 . . . 欠席

#### 3 表彰の概要

(1) 趣 旨 芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等、地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対し、その功績をたたえるもの。

(2) 表彰者 文部科学大臣

### 被表彰者の略歴及び主な功績

## 芸術文化分野：須崎 俊雄（すさき としお）

昭和8年10月に鳥取県鳥取市で生まれ、鳥取大学学芸学部を卒業後、日本海テレビジョン放送株式会社に勤務する。

その傍ら、文芸同人誌「裏日本文学」、「論」を主宰し、その後「断層」を創刊するなど、鳥取の文芸に新風を吹き込む。また、「鳥取文芸」「地方時代」「地平線」などの文芸雑誌にも多数の小説を投稿し、それらの一部を小説集『うしろの正面』、『ヤカモチ、雪に歌う』にまとめて出版した。その後も現在に至るまで、小説の執筆を続けている。

また、評論『鳥取の市民運動』、伝記『格子戸を破った男 児島幸吉のベンチャー精神』、絵本『東郷池のピョンタとケロッコ』、劇作「鳥取城主・吉川経家」、上演台本「渴殺・鳥取城」、「鳥取有情」を出版するなど、幅広く活動している。特に「渴殺・鳥取城」、「鳥取有情」は、「市民による市民のための市民の演劇」を目指し、スタッフ・キャストを公募した市民劇であり、市民文化の活性化を促した。

このほか、鳥取県文化団体連合会会長、鳥取市文化団体協議会会長及び鳥取県総合芸術文化祭実行委員会委員等を歴任し、鳥取県の文化振興に尽力している。

昭和60年に鳥取市文化賞、昭和63年に山陰中央新報社地域開発賞（文化賞）を受賞し、平成23年には鳥取県文化功労賞知事表彰を受賞した。

## 文化財分野：宇倍神社麒麟獅子舞保存会 (うべじんじゃきりんししまいほぞんかい)

宇倍神社麒麟獅子舞は、因幡一宮である宇倍神社の春季大祭に奉納され、江戸時代中期（正徳年間（1711～16））、鳥取東照宮の祭礼を学んで御幸を執行したとあり、獅子の舞い方等がこの頃伝わったのではないかと考えられている。

保存会の設立は昭和28年以前で、以来今日に至るまで、当該無形民俗文化財の保存・伝承に努め、地域文化の振興に多大な貢献をしている。

毎年4月21日に行われる祭礼及び宵宮の日に宇倍神社境内で、三方舞と呼ばれる本式の舞を奉納するほか、同日に近い日曜日に行われる祭礼行列と一緒に氏子宅を門舞いする。門舞いは簡略化したもので5分ほどだが、不在の場合は「かぶり」といって玄関先で、在宅の場合は玄関前で戸を開け放って舞う。

そのほか、東照宮の獅子舞の様相をもっともよく伝えていることから、麒麟獅子舞の代表ととらえられ、各地のイベントへの出演はもちろん、麒麟獅子舞を用いたポスターや宣伝等にも多数登場し、普及啓発に大きく貢献している。平成28年には、麒麟獅子舞の保存伝承・普及啓発・後継者育成を目的とした、各麒麟獅子舞保存会の連合会である因幡麒麟獅子舞の会設立に大きな役割を果たし、設立後は理事として会の運営に尽力している。

本県の文化財保護に果たした功績は極めて顕著であることから、平成15年には鳥取県教育委員会表彰を受賞した。